

授業科目名・形態	介護の基本V	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	関口麗子・林 宏二	開講期	2年前期	単位数 2

### 【授業の主題】

尊厳を守り自立を支援する基本理念をもとに、介護実践における「連携」と「倫理」について、その意義や目的を理解し実践方法を身につける。

### 【到達目標】

- 1) 福祉職のみならず、関連領域である保健医療分野や行政機関等とのチームアプローチについて、その意義と実践方法を学ぶ。
- 2) 権利擁護、虐待防止、個人情報保護など、現状に見る課題と関連させながら学習する。
- 3) 介護場面における、倫理的課題に対応できるための基礎となる能力を養う。

### 【授業計画・内容】

- 第 1 回 介護実践における連携の意義と目的
- 第 2 回 関連領域の理解と相互連携
- 第 3 回 介護職員間の連携とチームアプローチ
- 第 4 回 協働職種の機能と連携のあり方
- 第 5 回 地域連携の意義と目的
- 第 6 回 インフォーマルな地域資源の開発と相互連携
- 第 7 回 ケアマネジメントと多職種連携
- 第 8 回 介護福祉士の専門性と倫理
- 第 9 回 介護と利用者の人権、権利擁護
- 第 10 回 尊厳を支える介護と虐待防止
- 第 11 回 利用者の個人情報とプライバシー保護
- 第 12 回 高齢者の個人情報から学ぶ尊厳と人権
- 第 13 回 児童・障害者の虐待事例から学ぶ尊厳と人権
- 第 14 回 介護福祉士会倫理綱領と専門職の職業倫理
- 第 15 回 まとめ

### 【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

### 【授業準備】

講義内容を確認し予習を行う。倫理に関する最近の問題について、新聞や参考書で確認する。

### 【主な関連する科目】

介護の基本、生活支援技術論

### 【教科書等】

「新・介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ 第4版」 <中央法規>

### 【参考文献】

適宜、紹介します。

### 【成績評価方法】

小試験・前期定期試験等 90%、出席状況・授業参加姿勢 10%で評価する。

### 【学生へのメッセージ】

連携・チームワークは、それぞれの分野の持つ専門的な役割と機能に、お互いに関心を持ち、敬意を持つことが基本となります。積極的に授業に参加し、知識の獲得に努力しましょう。